

ボラって い〜ね



地域を笑顔でいっぱいになりたい

令和2年9月号

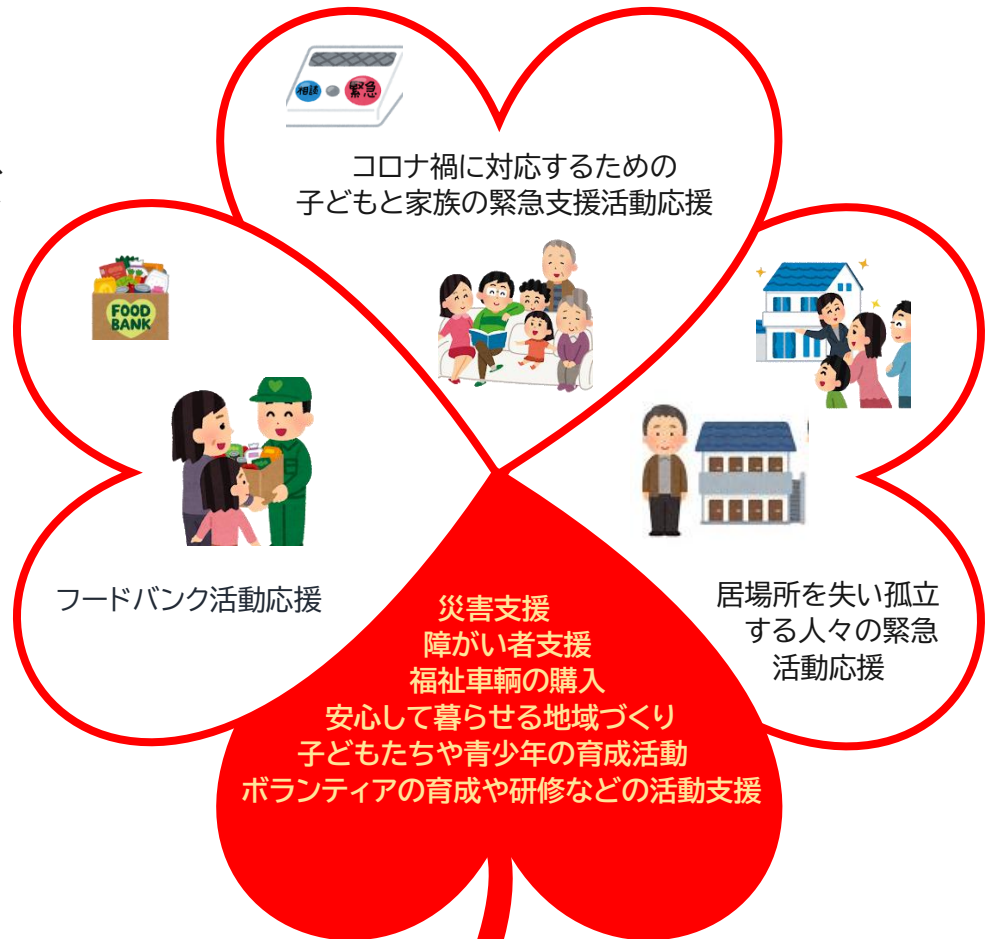
赤い羽根共同募金



わたしたちの暮らしの中には、色々な形のボランティア活動があります。個人で行うもの、団体で行うもの、企業や学校単位で行うものなどスタイルや活動の場所は様々です。自分にあったスタイルで、興味のある分野の活動ができるのがボランティア活動の魅力です。その中で、寄付も身近なボランティア活動のひとつになります。

今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に展開されます。赤い羽根共同募金は、高齢・障がいなど、さまざまな社会問題や地域課題を解決するための活動を応援しています。

本運動の基本的な理念や、必要性をご理解いただき、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために赤い羽根共同募金と「地域を良くするしくみ」を築いていきませんか？温かいご理解とご協力をお願いいたします。



フードバンク活動応援

コロナ禍に対応するための
子どもと家族の緊急支援活動応援

居場所を失い孤立
する人々の緊急
活動応援

災害支援
障がい者支援
福祉車輛の購入
安心して暮らせる地域づくり
子どもたちや青少年の育成活動
ボランティアの育成や研修などの活動支援

赤い羽根共同募金とは

昭和22(1947)年、戦後、民間で運営されていた福祉施設の乏しい財源を補う必要から、「助け合う」という精神を基調として始まりました。その後、法律(現在の社会福祉法)に基づき、地域福祉の推進のために活用されています。

手稲の募金額は？

手稲区の募金額(令和元年度)は5,933,721円となり、手稲区内の民間団体等に配分された助成額(令和2年度)は3,406,000円。お寄せいただいた募金の約6割が手稲区内で活用されています。



赤い羽根共同募金について、みなさんが「どうして？」と思っていることを教えお答えします。



「赤い羽根共同募金」の羽根は、どうして赤色なの？

「赤い羽根」は、勇気と良い行いのシンボルだからです。アメリカの原住民族は、色々な色の羽根飾りを頭などにつけていましたが、羽根には色によって意味がありました。勇気のある行いや、良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われていました。

お金は、どんなことに使われるの？

1 人暮らしのお年寄りの話し相手や、障がいのある人が出かけるお手伝いをしたり、私たちの住む町で支援が必要な人たちのために使われます。

1 人で暮らしているお年寄りや、1 日中、誰とも会わないで過ごすことがあります。車椅子が必要な人、目の見えない人は、買い物に出かけるのもひと苦労です。災害が頻繁に起こる日本では、突然の災害で暮らすところがなくなってしまう人もいます。「赤い羽根共同募金」は、私たちの住む町で支援を必要としている人たちのために活動するボランティア団体などに助成しています。「赤い羽根共同募金」の寄付金の使われ方は、ホームページで公開しています。

あかいはねデータベース はねっと 検索



どうして「赤い羽根共同募金」をするの？

私たちの住む町には、お年寄りや障がいのある人、子育て中の人など、暮らしていくのに助けが必要な人たちがいます。みなさんが暮らしやすくなるお手伝いをするために、ちょっとずつ助けあう。それが「赤い羽根共同募金」です。

「赤い羽根共同募金」は日本以外の国にもあるの？

「共同募金」は、世界の 40 の国などで行われています。でも、シンボルとして「赤い羽根」を使っているのは日本だけです。

「赤い羽根」以外の色の羽根は、なんの募金？

募金活動には、いろいろな色の羽根を使う募金があり、それぞれ異なる団体が行っています。主なものをご紹介します。また最近では、ピンクリボン(乳がんの啓発)やオレンジリボン(子どもの虐待を防ぐ)など、リボンをシンボルとした募金活動も増えてきています。

- ・赤い羽根共同募金・・・ 助けを必要とする人たちのために(共同募金会)
- ・みどりの募金・・・森林づくりの活動に(国土緑化推進機構)
- ・青い羽根募金・・・海の事故をふせぐ活動に(日本水難救済会)
- ・海の羽根募金(水色)・・・水難遺児の支援に(漁船海難遺児育英会)



赤い羽根共同募金にご協力いただく方法をご案内します。



赤い羽根共同募金運動には寄付をお願いする相手により、いくつかの募金方法があります。

- (1)「家庭」を対象とした「**戸別募金**」
- (2)「通行人」を対象とし、運動をPRする「**街頭募金**」
※今年度は、10月1日(木)から7日(水)まで、
区内のJR駅、スーパーマーケット前等で行う予定です。
- (3)「企業」を対象とした「**法人募金**」
- (4)「従業員」を対象とした「**職域募金**」
- (5)「児童・生徒」を対象とし、福祉教育を目的とした「**学校募金**」
- (6)「各種イベント」による「**興行募金**」
※区内の地域行事での募金活動及び募金箱の設置
- (7)「**啓発強化募金**」

共同募金×手稲区マスコットキャラクター「ていぬ」地域応援ピンバッジ 2020年版

手稲区マスコットキャラクター「ていぬ」と共同で、手稲区限定の地域応援ピンバッジを作成しました。500円以上の募金をしてくださった方に1個差し上げています。このうち300円が赤い羽根共同募金に寄付されます。

デザインは、区民のみなさんから寄せられたアイデアによるもので、800個限定で作成しました。とても人気で、残りわずかとなってきました。ご希望の方は、手稲区社協までお問い合わせください♪



手稲鉄北地区にお住まいの
中川美春さんによるデザイン♪

赤い羽根インターネット募金

ご存知ですか？

近年は、街中や駅前などで見かける募金活動や、コンビニエンスストアなどでレジの横に置いてある募金箱に現金で寄付する方法だけでなく、ネット上で現金不要で寄付する方法も広がっています。

手稲区専用のURLを開くか、またはQRコードを読み込むと、「赤い羽根インターネット寄付システム」につながり、気軽にインターネットから赤い羽根共同募金に寄付ができます。

インターネットを通して、気軽な寄付を



赤い羽根の募金活動は、まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、きっと町を変えていくはじめの一歩となるはずです。



札幌市手稲区の専用寄付申込URL

<https://hanett.akaihane.or.jp/donate/entry/100/01/01109/>





研修のご案内

〈お申込み・お問合せ〉
札幌市社会福祉協議会
Tel 011-623-4000
Fax 011-623-0004

新型コロナウイルス感染拡大防止に係るお知らせ

研修受講をお申し込みの皆さまへ

新型コロナウイルス感染防止のため、「『換気の悪い密閉空間』『多くの人々が密集する場所』『近距離（互いに手を伸ばしたら届く距離）での会話や発声』の3つの条件が同時に重なる場所を避ける」観点から、開催内容を予告なく変更する場合がございます。

ご理解とご協力をお願いいたします。



【第6回 1日福祉セミナー】

現在の地域福祉の動向と、それに対する取り組みを学ぶことにより、これからのボランティア活動・市民活動へのかかわり方について学びます。

【テーマ】ご存知ですか？ダブルケア

～他人事ではない「子育て＋介護」「介護＋介護」の時代～

【日時】令和2年10月13日（火） 13:30～15:30

【場所】札幌市社会福祉総合センター4階 研修室（中央区大通西19丁目1-1）

【参加費】500円 【定員】14名

【講師】介護コンサルタント Ka.ELLE 代表 野嶋 成美 氏

ボランティア活動センターより

197万人が暮らす札幌市。市内10区、それぞれの区に個性があり魅力があります。手稲区の魅力は、なんといっても自然豊かな環境と利便性の良さだと思います。手稲山をはじめ、「ていぬ」地域応援ピンバッジのデザインにもなった軽川緑地、親しみやすい公園にしていくための支援団体もある前田森林公園など、まだまだたくさん自然豊かな場所があり、のんびり過ごせます。利便性では、都心から離れているといっても、JR手稲駅から札幌駅まで約15分と好アクセスにあります。駅周辺はもちろん、生活に便利なスーパーが点在し、少し足を延ばすと隣接して小樽市があり、買い物やちょっとドライブにはちょうど良い距離です。

そうした住み心地が良い手稲区ですが、人とのつながりが薄く、困りごとを抱える高齢者も少なくありません。高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことが出来るために何が必要か？それは、地域で暮らす方々や働く方々が、より多くの目で異変に気付いてあげることが大切だと思います。「手稲に住んでいて良かった」と心から思える町にしていきたいですね。ていねっていいね！

札幌市手稲区前田1条11丁目1-10 手稲区民センター1階
札幌市手稲区ボランティア活動センター（社会福祉法人札幌市手稲区社会福祉協議会内）
TEL：681-2644 FAX：684-8560 【担当 三村】